

第2回資源循環型施設検討委員会の協議内容について

テーマ	委員区分	委員の意見要旨	第2回委員会での整理(又は事務局回答)	広域連合及び市の考え方
1 生ごみリサイクルシステムの構築に向けた組織(仮称 生ごみリサイクル研究委員会)の設置について	学識	ごみ質調査は、処理施設で調査する「乾ベース」よりも、家庭ごみの排出時の状況を反映する「湿ベース」の方が実情を把握しやすく減量ターゲットが絞りやすいため、「湿ベース」のデータを示して欲しい。	○調査結果について、事務局に次回以降の提出を求める。 ○研究委員会で協議の進め方について整理・検討をしていく。	◎別紙①により、説明いたします。 ◎別紙②により、説明いたします。
	住民	排出量が多い上田市の生ごみを減らすことが、最も重要であり、行政は目を逸らすべきではない。これまでのモデル事業を検証し、地域住民の安心・安全の確保のために減量を進めるべきである。		
	学識	研究委員会の設置に賛成。「処理」だけではなく「分別」及び「収集運搬」の検討も必要である。他県ではごみ減量に向けた分別強化が市民負担増加として、高齢者の反発を招いた事例もある。		
	学識	マイクロプラスチックの問題も出てきており、堆肥化及び飼料化は利用する最終ユーザーを想定して理解が得られるか、実行可能か検討すれば良い結果が出てくる。		
	学識	どこの都市でも生ごみ比率が高くなるのは共通である。ついては、生ごみ減量が進まないことにも共通の課題があるはずであり、それを踏まえての上田市での検討や解決策の提示を期待する。		
	住民	施策のごみ減量成果が出るのが数年後であることを考えれば、研究委員会が結論を出す具体的な日程を示すべきである。研究委員会での議論のみではなく対策連絡会にも正式に提案をして、説明をしながら一緒にやっていただきたい。		
	行政	今後、飼料化、堆肥化、バイオガス化など、様々な視点から研究する。堆肥化の場合、農業者が利用可能か検討も必要となる。具体策の立案には時間がかかるが、対策連絡会に提案したい。		
	住民	研究開始の段階であることは理解するが、堆肥化ならば安全性の担保や利用策及び商品化など総合的な施策が必要である。資源循環型施設建設に向けた減量化を考えれば「待たなし」の施策の一つである。		
	学識	研究委員会には堆肥の利用者である農業者、ごみ排出者である住民代表もメンバーとすべきである。		
2 生ごみ減量・リサイクルの市民への啓発について	学識	リサイクル率向上のためには広報等だけでなく、収集時の指導や自治会への出張講座など様々な手法により、市民に意義を理解してもらうことが必要である。	○行政に施策の継続的な推進を求める。	◎31年度から、ごみ処理分別適正化に向けて以下の取組を行ってまいります。 ・外国籍市民を雇用している企業等への出前講座の実施 ・自治会未加入者に対するごみ分別適正化の推進
	学識	家庭の生ごみ処理方法について他地域での例も含めて市民への啓蒙をして欲しい。		
	学識	パンフレット配布等だけでなく雇用する企業を含めて、直接出向いて、外国籍市民への啓蒙をして欲しい。		
3 焼却炉の構成	学識	「3炉を基本として議論する」との方針だが、「1日当たり処理量144tを上限とする。」のみの決定で、炉数を確定する状況には違和感がある。炉数については、様々な観点から今後の検討とすべきではないか。	○3炉を基本として、最終的な処理量、炉の大きさによる排出規制値、技術的に可能な自主規制値等をふまえて、検証を行い判断する。	◎整理のとおり、今後、施設基本計画策定委員会等で検討し決定してまいります。
	住民	ごみ減量への対応を主眼として、2炉ではなく3炉構成を基本としたが、小規模炉では法定の公害規制値は緩やかになる。先進技術により小規模炉での排出抑制及び自主規制がどこまで可能か、根拠に基づき炉数を判断する段階がいずれ来るだろう。		
4 施設及び周辺環境の安全性	住民	地元住民には、詳細な数値よりも住宅地に近接した焼却施設で近年に健康被害等の事例があるかが重要である。	(事務局回答)これまでに被害が発生して、公害審査処理法に基づく「公害審査会」で審査された施設はない。	◎皆様の御意見をいただき、安全な施設を目指してまいります。
	学識	上田クリーンセンターの排出ガスについて、気象条件をふまえたダイオキシン類濃度の土壌調査結果はあるか。	○排出ガスの流れは環境影響評価で調査する。現センター周辺での土壌調査結果は次回、事務局に提出を求める。	◎別紙③により、説明いたします。
	学識	ダイオキシン類の環境及び人体内での分解速度はどの程度か。	(事務局回答)半減期は環境で15年、体内で7-8年である。	◎別紙④により、説明いたします。
	住民	現在の技術で実現可能な有害物質の除去水準やダイオキシン類の測定方法などの説明をして欲しい。	○事務局に次回以降での説明を求める。	◎今回の委員会で説明いたします。

↑ 委員区分: 選出区分を表わす。住民=対策連絡会代表、学識=学識経験者、行政=広域連合・上田市職員